じぶんの まなぶワーク

中学3年 英語

使い方・紙面のご案内

ひとりでわかる。自分で解ける。

今回お試しいただける範囲：第1回 受け身の意味と節末・章末のまとめ問題

このワーク、どう使おうかな？

専用ページの試し読みPDFは、問題編と解答解説編が一緒になっています。
総合目次には、有料版の全章を載せています。
続けて学びたいときは、最後のページをご覧ください。

この冊子でわかること

使う場面・3つの使い方・学習の進め方	2〜5ページ
総合目次（章ごとに1ページ）	6〜10ページ
紙面・印刷と保存・商品のご案内	11〜15ページ

オンライン個別指導塾「すまいるらぼ」の教材ブランドです。

©すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク

01 こんなときに使ってみよう

学びたいときに、必要なところから

何のために取り組むかを決めると、使うページを選びやすくなります。

1

予習に

学校で習う前に

これから学ぶ回の「読むライブ解説」に目を通してみましょう。知らない言葉や気になるところに印をつけて、授業で確かめてみてください。

2

復習に

学校で習ったあとに

授業で学んだ回の問題を解いて、わかったことを確かめましょう。手が止まったところは、解説へ戻って読み直せます。

3

定期テスト対策に

テスト範囲がわかったら

目次で範囲の回を探して取り組みましょう。間違えた問題を解き直し、テストがあるときは、その問題でも確かめてみてください。

4

苦手の学び直しに

前に習ったところが気になったら

わからなくなった回へ戻り、短い範囲から始めましょう。「読む→解く→確かめる」を、自分のペースで繰り返せます。

今の自分に必要な回から使ってみてください。少しずつでも大丈夫です。

02 書き込み式ワークの3つの使い方

自分に合う方法で使ってみよう

この教材は、紙面に直接答えを書き込めるつくりです。

1 印刷して、直接書き込む

紙と鉛筆で取り組みたいときに

必要なページを印刷して、答えや考えたことを書きましょう。問題の近くの空いているところも、計算やメモに使えます。

2 画面に表示して、ノートなどに解く

スマホ・タブレット・PCで

学習編を画面に表示し、見ながらノートなどに答えを書けます。文字が小さいときは、表示を大きくして見てください。

3 タブレットなどに、直接書き込む

PDFに書き込めるアプリで

教材をアプリで開き、ペンなどで直接答えを書きます。使える機能や保存方法は、端末やアプリによって異なります。

同じ教材を、何度も使えます

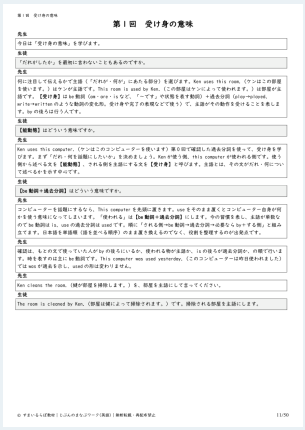
書き込む前のPDFは、そのまま残しておきましょう。必要なページを印刷し直したり、PDFの別のコピーに書き込んだりすると、同じ問題を繰り返し使いやすくなります。

©すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク

03 会話を読みながら、考え方を学ぶ

「読むライブ解説」って、どんなもの？

先生と生徒の会話を読みながら、考え方や解き方を学ぶ部分です。
生徒の質問と先生の説明を、自分も一緒に授業を受けているつもりで
読んでみてください。



第1章 受け身｜学習編11ページの紙面

1 生徒と一緒に考えてみる

質問が出てきたら、「自分ならどう考えるかな？」と少し立ち止まってみましょう。

2 例や図と見比べる

説明の中で出てくる言葉を、例や図の中で探すと、話のつながりを追いやすくなります。

3 わからないところは、もう一度

一度で全部わからなくても大丈夫。気になる会話へ戻り、ゆっくり読み直してください。

04 学習の進め方

読んで、解いて、もう一度

一つの回を、次の流れで進めてみましょう。

01

解説を読んで考える

「読むライブ解説」を読み、例や図も見ながら、考え方を確かめます。

02

自分で問題を解く

まずは自分で取り組み、迷った問題や手が止まった問題には小さく印をつけておきます。

03

答えと理由を確かめる

解答解説編の同じ回・同じ問題番号を探します。どこが合っていて、どこで迷ったのかを見てみましょう。

04

解答を閉じて、もう一度解く

間違えた問題を、自分の力で解けるか確かめます。難しいときは、もう一度解説へ戻って大丈夫です。

繰り返し解くことも、大切です

答え合わせのあとに解き直し、少し日をあけて、また取り組んでみましょう。同じ問題でも、自分で考えて解けるかを確かめることが大切です。
解いた日をメモしておくと、次に取り組むときの目印になります。

05 総合目次｜有料版の全体

第1章 受け身

学習編：中3英語 第1章 受け身 学習編.pdf

解答解説編：中3英語 第1章 受け身 解答解説編.pdf

◎	単元名	学習編ページ	解答解説ページ
第1-1 節 受け身の文			
	過去形・過去分詞形の確認	3〜10	2〜6
第1回	受け身の意味	11〜15	7〜12
第2回	受け身の肯定文	16〜20	13〜17
第3回	受け身の否定文	21〜25	18〜22
第4回	受け身の疑問文	26〜30	23〜28
第5回	過去の受け身	31〜35	29〜34
第6回	行為者を示さない受け身	36〜40	35〜39
第7回	能動態との使い分け	41〜45	40〜45
	第1-1節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**46〜47**	**46〜47**
	第1章章末テスト	**48〜50**	**48〜50**

ページは、その章のPDFを開いたときの番号です。表紙を1ページ目として数えます。

05 総合目次｜有料版の全体

第2章 完了形

学習編：中3英語 第2章 完了形 学習編.pdf

解答解説編：中3英語 第2章 完了形 解答解説編.pdf

◎	単元名	学習編ページ	解答解説ページ
第2-1 節 現在完了			
第9回	現在完了の意味	3〜9	2〜11
第10回	完了・結果	10〜16	12〜21
第11回	経験	17〜23	22〜31
第12回	継続	24〜30	32〜40
第13回	現在完了の否定文	31〜37	41〜49
第14回	現在完了の疑問文	38〜44	50〜59
第15回	過去形との区別	45〜51	60〜69
	第2-1節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**52〜53**	**70〜71**
第2-2 節 現在完了進行形			
第17回	現在完了進行形の意味	54〜59	72〜79
第18回	継続期間のたずね方	60〜65	80〜88
第19回	現在完了との使い分け	66〜71	89〜97
	第2-2節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**72〜73**	**98〜99**
	第2章章末テスト	**74〜76**	**100〜102**

ページは、その章のPDFを開いたときの番号です。表紙を1ページ目として数えます。

05 総合目次｜有料版の全体

第3章 不定詞と文構造

学習編：中3英語 第3章 不定詞と文構造 学習編.pdf

解答解説編：中3英語 第3章 不定詞と文構造 解答解説編.pdf

◎	単元名	学習編ページ	解答解説ページ
第3-1 節 不定詞を使う表現			
第21回	疑問詞＋to	3〜7	2〜7
第22回	It is...to（「〜することは…です」という形）	8〜12	8〜12
第23回	want＋人＋to	13〜17	13〜18
第24回	tell・ask＋人＋to	18〜22	19〜24
第25回	too...to（「…するには〜すぎる」という形）	23〜27	25〜30
第26回	enough to	28〜32	31〜37
	第3-1節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**33〜34**	**38〜39**
第3-2 節 複雑な文の骨組み			
第28回	間接疑問文	35〜40	40〜45
第29回	疑問詞が主語の間接疑問	41〜46	46〜51
第30回	make＋目的語＋補語	47〜52	52〜57
第31回	call＋目的語＋補語	53〜58	58〜63
第32回	help＋目的語＋原形	59〜64	64〜69
	第3-2節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**65〜66**	**70〜71**
	第3章章末テスト	**67〜69**	**72〜74**

ページは、その章のPDFを開いたときの番号です。表紙を1ページ目として数えます。

05 総合目次｜有料版の全体

第4章 後置修飾

学習編：中3英語 第4章 後置修飾 学習編.pdf

解答解説編：中3英語 第4章 後置修飾 解答解説編.pdf

◎	単元名	学習編ページ	解答解説ページ
第4-1 節 分詞による修飾			
第34回	現在分詞の前置修飾	3〜8	2〜7
第35回	現在分詞の後置修飾	9〜14	8〜13
第36回	過去分詞の前置修飾	15〜20	14〜19
第37回	過去分詞の後置修飾	21〜26	20〜26
第38回	修飾関係を整理する	27〜31	27〜33
	第4-1節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**32〜33**	**34〜35**
第4-2 節 関係代名詞			
第40回	主格who	34〜39	36〜42
第41回	主格which	40〜45	43〜50
第42回	主格that	46〜51	51〜58
第43回	目的格which・that	52〜57	59〜65
第44回	関係代名詞の省略	58〜63	66〜73
第45回	主格と目的格の区別	64〜69	74〜81
第46回	複雑な主語を捉える	70〜75	82〜89
	第4-2節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**76〜77**	**90〜91**
	第4章章末テスト	**78〜80**	**92〜94**

ページは、その章のPDFを開いたときの番号です。表紙を1ページ目として数えます。

05 総合目次｜有料版の全体

第5章 仮定と意見

学習編：中3英語 第5章 仮定と意見 学習編.pdf

解答解説編：中3英語 第5章 仮定と意見 解答解説編.pdf

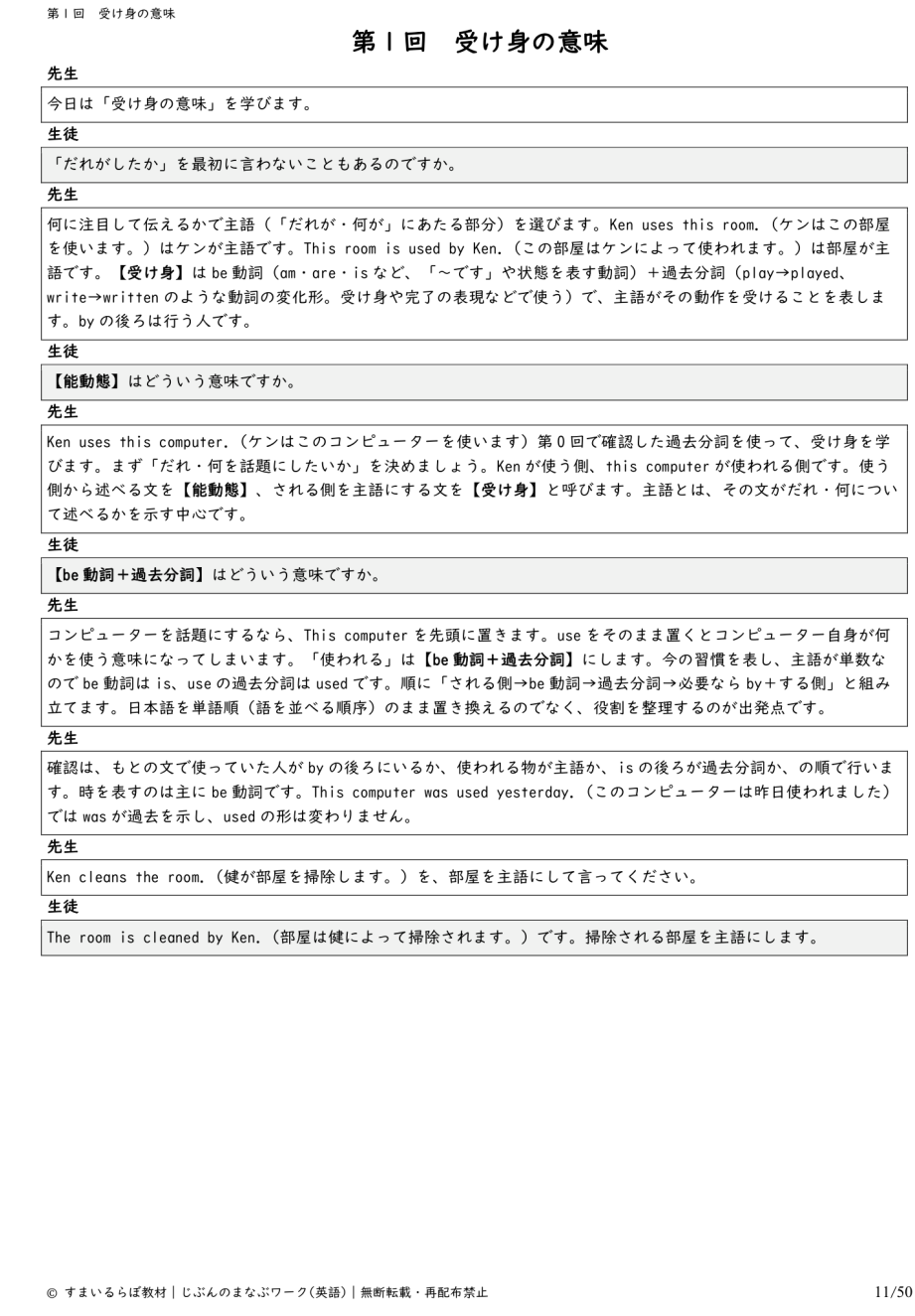
◎	単元名	学習編ページ	解答解説ページ
第5-1 節 仮定法の基礎			
第48回	仮定法過去	3〜8	2〜8
第49回	If I were...（「もし私が〜なら」という形）	9〜14	9〜15
第50回	I wish...（「〜ならよいのに」と願う形）	15〜20	16〜22
第51回	直接法との違い	21〜26	23〜30
	第5-1節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**27〜28**	**31〜32**
第5-2 節 読む・書く・情報を伝える			
第53回	論説文の要旨	29〜35	33〜39
第54回	物語の心情推測	36〜42	40〜46
第55回	複数資料の比較	43〜49	47〜53
第56回	読んだ要点の要約	50〜57	54〜60
第57回	意見と根拠	58〜64	61〜67
第58回	反対意見への応答	65〜71	68〜74
第59回	社会的話題について英文を書く	72〜78	75〜81
第60回	推敲と改善	79〜86	82〜88
	第5-2節末テスト（読む・書くの対象範囲）	**87〜88**	**89〜90**
	第5章章末テスト	**89〜92**	**91〜94**

ページは、その章のPDFを開いたときの番号です。表紙を1ページ目として数えます。

06 実際の紙面を見てみよう

学習編：会話の読み方

第1章 受け身｜学習編11ページの紙面



第１回　受け身の意味

第１回　受け身の意味

1

先生

今日は「受け身の意味」を学びます。

生徒

「だれがしたか」を最初に言わないこともあるのですか。

先生

何に注目して伝えるかで主語（「だれが・何が」にあたる部分）を選びます。Ken uses this room.（ケンはこの部屋を使います。）はケンが主語です。This room is used by Ken.（この部屋はケンによって使われます。）は部屋が主語です。**【受け身】**は be 動詞（am・are・is など、「～です」や状態を表す動詞）＋過去分詞（play→played、write→written のような動詞の変化形。受け身や完了の表現などで使う）で、主語がその動作を受けることを表します。by の後ろは行う人です。

生徒

【能動態】はどういう意味ですか。

先生

Ken uses this computer.（ケンはこのコンピューターを使います）第０回で確認した過去分詞を使って、受け身を学びます。まず「だれ・何を話題にしたいか」を決めましょう。Ken が使う側、this computer が使われる側です。使う側から述べる文を**【能動態】**、される側を主語にする文を**【受け身】**と呼びます。主語とは、その文がだれ・何について述べるかを示す中心です。

生徒

【be 動詞＋過去分詞】はどういう意味ですか。

先生

コンピューターを話題にするなら、This computer を先頭に置きます。use をそのまま置くとコンピューター自身が何かを使う意味になってしまいます。「使われる」は**【be 動詞＋過去分詞】**にします。今の習慣を表し、主語が単数なので be 動詞は is、use の過去分詞は used です。順に「される側→be 動詞→過去分詞→必要なら by＋する側」と組み立てます。日本語を単語順（語を並べる順序）のまま置き換えるのでなく、役割を整理するのが出発点です。

先生

確認は、もとの文で使っていた人が by の後ろにいるか、使われる物が主語か、is の後ろが過去分詞か、の順で行います。時を表すのは主に be 動詞です。This computer was used yesterday.（このコンピューターは昨日使われました）では was が過去を示し、used の形は変わりません。

先生

Ken cleans the room.（健が部屋を掃除します。）を、部屋を主語にして言ってください。

生徒

The room is cleaned by Ken.（部屋は健によって掃除されます。）です。掃除される部屋を主語にします。

© すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク（英語）｜無断転載・再配布禁止

1 解説・例題

解説を読み、どんな順序で考えるかを確かめます。

06 実際の紙面を見てみよう

学習編：問題への取り組み方

第1章 受け身｜学習編12ページの紙面

1

第１回　受け身の意味

【練習問題】

目安時間：約 24 分

①　**【文法・適語補充】**「この手紙は英語で書かれています」This letter is（　　）in English. 空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

ア　write　イ　wrote　ウ　writing　エ　written

【文法・適語補充】次の日本語に合うよう、空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

②　「この時計はケンによって作られています。」　This clock is（　　）by Ken.

ア　made　イ　makes　ウ　making　エ　make

③　「これらの野菜はここで売られています。」　These vegetables（　　）sold here.

ア　am　イ　be　ウ　is　エ　are

④　「その歌は子どもたちによって歌われています。」　The song is sung（　　）children.

ア　by　イ　of　ウ　at　エ　to

⑤　「昨日、彼はそのドアを壊しました。」　He（　　）the door yesterday.

ア　breaking　イ　break　ウ　broke　エ　broken

⑥　「そのドアは昨日壊されました。」　The door was（　　）yesterday.

ア　breaks　イ　broken　ウ　broke　エ　breaking

【文法・並び替え】日本語に合う英文になるよう、語群をすべて１回ずつ使って並べ替えなさい。文頭は大文字にし、指定の文末記号を付けること。

⑦　「これらの野菜は私のおじによって栽培されます。」

語群（vegetables / are / my / by / these / grown / uncle）.

⑧　**【文法・並び替え】**「この道具は農家の人々に使われています。」に合うよう、語群をすべて１回ずつ使って並べ替えなさい。文頭を大文字にし、指定の文末記号を付けること。

語群（farmers / this / is / by / used / tool）.

⑨　**【文法・並び替え】**「これらの家は木材で建てられています。」に合うよう、語群をすべて１回ずつ使って並べ替えなさい。文頭を大文字にし、指定の文末記号を付けること。

語群（houses / wood / these / of / built / are）.

⑩　**【文法・並び替え】**「英語はこの町で話されています。」に合うよう、語群をすべて１回ずつ使って並べ替えなさい。文頭を大文字にし、指定の文末記号を付けること。

語群（town / in / spoken / is / English / this）.

⑪　**【文法・並び替え】**「その絵は私の姉によって描かれました。」に合うよう、語群をすべて１回ずつ使って並べ替えなさい。文頭を大文字にし、指定の文末記号を付けること。

語群（sister / my / was / painted / the / picture / by）.

© すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク（英語）｜無断転載・再配布禁止

1 練習問題

解説を思い出しながら、まずは自分で解いてみます。

06 実際の紙面を見てみよう

解答解説編：答え合わせのしかた

第1章 受け身｜解答解説編7ページの紙面



第１回　受け身の意味

第１回　受け身の意味

解答	解説
①　エ	**正答はエ「written」です。** ア：「letter is write in English.」では原形を置いているが、この空欄は be 動詞と組む過去分詞 written の位置である。 イ：「letter is wrote in English.」では過去形を置いているが、この空欄は be 動詞と組む過去分詞 written の位置である。 ウ：「letter is writing in English.」は進行形の形になり、日本語で指定した受け身にはならない。ここは be 動詞＋過去分詞 written が必要。 エ：受け身は be 動詞＋過去分詞です。 完成文：This letter is written in English. 和訳：この手紙は英語で書かれています。
②　ア	**正答はア「made」です。** ア：時計は作られる側です。 イ：「clock is makes by Ken.」では三人称単数の現在形を置いているが、この空欄は be 動詞と組む過去分詞 made の位置である。 ウ：「clock is making by Ken.」は進行形の形になり、日本語で指定した受け身にはならない。ここは be 動詞＋過去分詞 made が必要。 エ：「clock is make by Ken.」では原形を置いているが、この空欄は be 動詞と組む過去分詞 made の位置である。 完成文：This clock is made by Ken. 和訳：この時計はケンによって作られています。
③　エ	**正答はエ「are」です。** ア：am は主語 I に対応する形なので、ここでの主語 These vegetables に合わない。 イ：「These vegetables be sold here.」では原形 be のままで、主語 These vegetables に合う現在・過去の述語 are にならない。 ウ：「is」は主語 These vegetables の数に合わない。修飾部や近くの名詞でなく、主語の中心に are を合わせる。 エ：主語 vegetables は複数なので are です。 完成文：These vegetables are sold here. 和訳：これらの野菜はここで売られています。
④　ア	**正答はア「by」です。** ア：動作をする側を示す by を使います。 イ：of children では子どもたちとの所属等の関係になり、歌う動作をした人を示せない。 ウ：at children では動作をした人という行為者の関係を表せない。 エ：sung to children なら子どもたちに向けて歌われる意味で、子どもたちが歌う側という日本語と逆になる。 完成文：The song is sung by children. 和訳：その歌は子どもたちによって歌われています。

© すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク（英語）｜無断転載・再配布禁止

1

1 解答解説

答えと理由を読み、手が止まったところを振り返ります。

07 使い始めるとき・もう一度使うときに

印刷・保存のちょっとしたコツ

最初に、試し読みのPDFを開きます

専用ページから試し読みPDFを開けます。問題編のあとに解答解説編があります。保存や印刷にも使えます。有料版はZIPを解凍し、学習編と解答解説編のPDFを開きます。

必要なページだけ印刷できます

試し読みPDFの中から必要なページを選び、印刷画面で範囲を指定します。印刷前の見本表示で、文字や答えを書く場所が切れていないか確認しましょう。

書き込む前のPDFを残しておきましょう

元のPDFを残しておくと、同じページをまた印刷したり、別のコピーに書き込んだりできます。書き込んだものには日付などを付けると、あとで探しやすくなります。

タブレットでは、保存できたか確認しましょう

書き込みが終わったら保存し、もう一度開いて、答えが残っているか確かめましょう。保存方法は使う端末やアプリに合わせて確認してください。

ご利用の範囲について

HOME・PROの教材内容は共通です。ご利用いただける方や印刷・共有などの決まりは、購入した区分に合う利用規約をご確認ください。

©すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク

08 教材のご案内

続けて学びたい方へ

同じ学年・科目の全体を学びたい方は、使う場面に合う区分をお選びください。

HOME版 1,980円

ご家庭で学びたい方へ

【HOME】じぶんのまなぶワーク 中学3年 英語

商品ページを開く →

https://sumairurabo-kyouzai.stores.jp/items/6aec85308366e6cc5cadf5c4

PRO版 9,900円

授業や教室で使いたい方へ

【PRO】じぶんのまなぶワーク 中学3年 英語

商品ページを開く →

https://sumairurabo-kyouzai.stores.jp/items/6aec85734ffe91f400605908

HOME・PROの教材内容は共通で、利用できる範囲が異なります。
くわしい収録内容と利用条件は、それぞれの商品ページでご確認ください。

画面ではリンクを押して、紙ではQRコードを読み取って開けます。

©すまいるらぼ教材｜じぶんのまなぶワーク